

東芝テックOB会だより

第38号

2023年2月11日

OB 会会長 挨拶

会長 浪川 邦俊



会員の皆様には、日頃から OB 会へのご支援とご協力をいただき誠に有難うございます。

新型コロナウイルスの感染が、日本で発見されて3年が経ちました。

未だに鎮静化する気配は有りませんが、皆様、息災にお過ごしのことと存じます。

会員の中には、不幸にも感染等によりご逝去された方もいらっしゃるかと思いますが、昨年度にご逝去された方々には、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

この3年間皆様には、心苦しい限りですが、OB 会の集会や行事の自粛をお願いしてきました。

そんな中でも、コンサートやスポーツ観戦は、次第に制限された観客数や無制限の観客数での開催が、日常化されてきています。

今年からは、全国的な旅行補助金制度やクーポン割引の継続によって、観光地への国内の往来も活発になってきました。また、入国制限の緩和により、海外からのインバウンドが増え観光地も賑わってきています。

当分は、コロナ前の日常もすぐには戻っては来ませんので、ウイズコロナの生活を続けて行かなければなりません。

このような状況に鑑みて、OB 会としても、感染対策を十分することを前提に、総会、常任幹事会、行事などの開催を行う準備や検討も進めたいと考えています。

皆様にお会いできるまで、くれぐれもお体大切にお過ごしください。宜しくお願い致します。



《王子・飛鳥山・渋沢栄一資料館・桜ウォーク》

令和4年3月31日（木）感染予防に気を付けてウォーキング実施

近代日本経済の父、「晴天を衝け」でNHK大河ドラマに登場した渋沢栄一の歴史探訪のウォーキングです。飛鳥山は江戸享保期に徳川吉宗が享保の改革の一環として、桜を植え造成された日本最初の公園です。

1879年（明治12年）渋沢栄一が飛鳥山、南東側の敷地に別荘を構え、1901年～1931年（昭和6年）まで本邸として使用していました。

〈ウォーキングコース〉

JR 王子駅北口（出発）～北とぴあ～音無親水公園～王子神社（王子権現、大銀杏）～飛鳥山公園（江戸の桜の名所）昼食～紙の博物館～渋沢史料館～飛鳥山博物館から JR 王子駅（解散）



飛鳥山山頂モニュメント前で桜を背景に



渋沢史料館 青淵文庫横にて



京浜東北線王子駅集合



北区の施設 北とびあ 展望ホールでオリエンテーション



展望ホールから 桜満開の飛鳥山の全景



音無親水公園入口で



理音無親水公園を歩く



王子神社境内の樹齢600年の大銀杏



王子神社の大鳥居前で



王子神社社殿



さくらトラム 飛鳥山歩道橋より



歩道橋の参加者達



公園での昼食



公園内を散策



公園内を散策



渋沢史料館エントランス



青澗文庫



青澗文庫内の見学



洋風茶屋晩香廬の内部見学



飛鳥山を後にして王子駅へ

次回は令和5年3月30日(木)「オリンピックスタジアム周辺ウォーキング」を予定しています。

会員の広場

東芝テックの成り立ちから OB 会発足まで

東京都大田区 室伏 好子

私が子供のころ、今の大仁工場は「日本ナショナル金銭登録機（株）」と云う会社でした。鄙びた大仁駅のホームに沿って金網の塀にクライミングローズが咲いてとてもきれいでした。塀の中は、鋸屋根の建屋と丸窓のある事務所が見え、従業員のユニフォームはデニムのつなぎで今思うと随分とハイカラな風景でしたね。

昭和15年「金銭登録機」を東芝が買収し「東芝大仁工場」となり、やがて戦争が始まり軍需工場となり、あの素敵な塀は竹垣となりました。私達は学徒動員で2年半、教室を作業室として工場の仕事をし、終戦と共に何も勉強しないまま卒業しました。疎開者が多くなる状況でしたので、大学進学者は一人もいませんでした。

昭和21年4月から毎年入社試験が行われることになったのですが、私は、その直前の3月に大仁工場勤労課に採用されてラッキーでした。

昭和25年、集中排除法により大企業は分割され、大仁工場は東芝の子会社になりました。その際は、希望退職を募り多くの人が退職しました。女性は殆んど退職しましたが、その後10年間女子の採用はありませんでした。そして、初代社長として吉岡社長が就任し、368名で「東京電気器具株式会社」がスタートしました。吉岡社長が東芝時代にアメリカのGEに出張した折り、「quarter club」というOB会があるのを思い出し、わが社にもつくりたいと勤続25年以上の人を会員とする「二五会」が発足したのです。

私は多くの人に支えて貰いながら、初代吉岡社長、駒井社長、秋津社長と三代の社長にお仕えし色々と学ばせていただきました。そして、定年退職してから30年以上も経ち、今、94歳となりましたが、お陰様で健康にも恵まれ、多趣味で若い友達も多く、ずっとライフスタイルを変えずに過ごすことができていることに感謝しております。でも、自分の楽しみだけに生き、人の為に何もしていなかったことは反省しています。

ある本に「人の為に金のある者は金を、金がなかったら知恵を、その両方がなかったら仏教

の言葉に「顔施」というのがある。長寿であった駒井社長にも老いたら「怒るな、転ぶな、風邪ひくな」と教わりました。「顔施」につながると思います。不機嫌な顔は、見たくないものです。

私にとって長寿の秘訣とは健康管理と自分の年を考えないことです。そして、老いても、なお、「Thought, action and continuation」をモットーに。



仲間と登った世界12の最高峰

神奈川県川崎市 浅野 修一

私は昨年3月に古希70才を迎え「仲間と登った世界12の最高峰」という本を出版しました。ドイツ駐在の43才で長く遠ざかっていた登山のトレーニングを始め、欧州最高峰であるフランスのモンブラン4,704mに登頂しました。その後、アフリカ最高峰キリマンジャロ5,681m（タンザニア）、東南アジア最高峰のキナバル 4,095m（マレーシア ボルネオ）など多くの海外の山に登り、登った世界各国の最高峰は12となりました。4,000mを超える高峰では毎回激しい高山病に喘ぎながらの辛い登頂でしたが、長い準備やいくつもの困難に立ち向かえたのは、一緒に頂を目指す仲間達がいたことに他ならないと感じています。

また、61才から始めたサイクリングでは台湾一周、64か国を巡るきっかけとなった学生時代初めての海外・マレー半島の一人旅、16年の海外駐在期間を共に海外で過ごした家族と巡った世界各国の旅の思い出を20ほどの手記にまとめました。（アマゾンで購入可能です）



ヨーロッパ最高峰 モンブラン山、フランス（1995年）



台湾一周サイクリング（2015年）

追憶

静岡県三島市 土屋 孝一

昨年3月に満92才を過ぎ、前途が大分縮まって来た。退社してから30年必ずしも春風駑蕩とは言えぬが、家族等多くの方のお陰で事故無く生を保ってきたことを感謝している。

振り返りみれば、信州奈良井で生誕時に、父は鉄道員で職場を五県も転々。小生も小学校は五校、中学、高校、大学と学んだがその間、戦時中に少年神風特攻隊を志願したが、入隊前に終戦で一命をとり止めた。大学を出たけれど、就職難の時代、東芝で顧問弁護士だった伯父に紹介された子会社の東京電気器具（株）[今の東芝テック] 大仁工場に入社出来た。入社後は大仁・東京・秦野・三島と転勤最後は関連会社フジケン（株）で幕を下ろした次第。

近況については、コロナ禍で老後の生活もいろいろ制限されてはいるが、小学校からスクールガードを委嘱され、子供達の安全を守り、家庭ではパソコン相手に囲碁や麻雀、FB 友達との交信を楽しみ、86才の妻と何とか元気でいます。



高校時代からの夢

静岡県伊豆の国市 森野 清

定年になったらやろうと思っていた高校時代からの夢を今、まさに楽しんでいます。

その夢と言うのは青春時代を過ごした昭和の車を再生し公道復帰させることです。車と言っても乗用車ではなく、製造廃止となって30年以上も経つ三菱のガソリンジープがその主役です。ゴルフ場や納屋の片隅で土に還るのをひたすら待っているジープを引き上げてきて手を入れ、登録をして車検を取り、公道復帰させるのです。

昨年は3年越しで某ゴルフ場のコースの片隅で惰眠を貪っていたジープの公道復帰を果たしました。ボロボロのボディは板金で復活出来る状態ではなかった為、ドナー車を探してボディを載せ替え、固着したキャブレター、エンジン、ミッションにも手を入れ、製廃となった部品を国内はもとより海外から調達したりしてやっと公道を走れる状態にまでしました。もちろん、私一人で全て出来る訳ではないので、知り合いの整備士や板金屋に助けを求めることもありました。今は、2年ほど前に引き上げてきた新車登録時のナンバーが付いたガソリンジープを今年中に公道復帰させる事を目指し、毎週土曜日・日曜日に油まみれになっています。生き甲斐や夢の為に働いて糧を得るといのは子育ての時とは違った喜びがあるものだとつくづく思う今日この頃です。



《北条家史跡巡りと“鎌倉殿の13人”大河ドラマ館見学》

2022年大河ドラマ“鎌倉殿の13人”がNHK 総合テレビで放映されました。源頼朝が平清盛との戦いに敗れ伊豆蛭ヶ島に配流されて一族が北条氏他の力を借りて挙兵し、平家一門を倒し鎌倉に幕府を開き将軍となる様子の一部を伺えることができる史跡を見学しました。

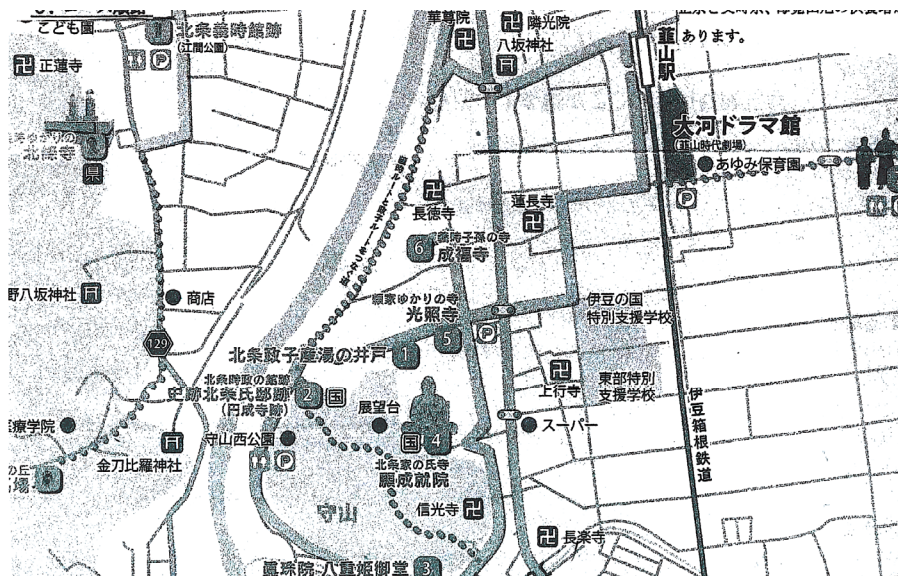
日時：令和4年6月8日（水）午前9時

集合：韮山駅【スタート：韮山駅、ゴール：大河ドラマ館】

〈ウォーキングコース〉コース距離：約4.6Km

【コース順路】 韮山駅 ～ 北条政子の産湯の井戸 ～ 北条氏邸跡（円成寺跡）～ 守山公園 ～ 眞珠院 ～ 願成就院 ～ 光照寺 ～ 成福寺 ～ 韮山駅 ～ 大河ドラマ館（入場料400円）

【蛭ヶ島を見学する場合】 韮山駅 ～ 蛭ヶ島 ～ 大河ドラマ館



(1) 北条政子産湯の井戸	(2) 北条氏邸跡（円成寺跡）	(3) 眞珠院（八重姫御堂）
政子が「産湯に使った」という井戸で史跡北条氏邸宅に近接するこの一帯も北条家の館であったと思われます。	調査に依って北条家の館が明らかになりました。鎌倉時代の建物跡や井戸が見つかりました遺跡の年代から時政の時代と考えられます北条氏滅亡後ゆかりの尼僧により一族を鎮魂する円成寺が建てられておりました。	眞珠院には頼朝の最初の妻八重を供養する御堂があります。八重は「眞珠が淵（狩野川か古川）」に身を投げたと伝えられております。
(4) 願成就院・北条家氏寺	(5) 光照寺（頼朝ゆかりの寺）	(6) 成福寺（義時子孫の寺）
北条氏の氏寺として時政が建立。義時、泰時の三代に渡り堂塔伽藍の造営がなされ地元では政子地蔵と慕われている地蔵菩薩と創建時のご尊像である国宝運慶作の五体の仏像が拝観できます。また、境内のは時政の墓があります。	頼朝の子、二代将軍頼家ゆかりの「病相の面」があります。修善寺に幽閉された頼家の様子を母政子に知らせるために制作されたと言ひ伝えられています。	八代執権北条時宗の子、正宗が再興したと伝えられています。境内には、正宗と父時宗、母覚山尼の供養塔があります。

北条家史跡めぐりと「鎌倉殿の13人」 大河ドラマ館見学ウォーキング

岩本 進

コロナ禍が発生してから3年余が経過しますが、御多分にもれず三島・函南支部においてもこの間は、会合、打合せや計画したイベントがすべて中止となり休止状態でしたら、ここに来てコロナ禍が終息してはおりませんが、下火になりつつあり世間もいろいろな規制を徐々に緩和してきており、集会やコンサート、スポーツ観戦等が条件付きで行われるようになってきました。

三島・函南支部のOB会もそろそろ条件付きで開催したらどうかとの意見があり今回は室内で行う行事ではなく室外で行うウォーキングを昨年6月8日(水)に19名の参加で開催いたしました。

コースは、現在“NHK 大河ドラマ”で「鎌倉殿の13人」が放映されて全国的にも注目されており私たちの地元でもあります北条家や源頼朝に関わる名所旧跡を歩きました。

なお。コロナウィルス感染予防のため歩行中でもマスクを着用して見学場所や寺院に入る際は、手・指にアルコール消毒を行い感染予防に注意を払いながら歩きました。

ウォーキングコースは、菰山駅 → 北条政子産湯の井戸（円成寺跡） → 守山公園 → 眞珠院 → 願成就 → 光照寺 → 成福寺 → 大河ドラマ館（ゴール）を約3時間で歩きました。



願成就院本堂前にて



伊豆の国市・時代劇場「鎌倉殿の13人」大河ドラマ館前にて

参加された会員も地元であっても行ったことも、見たこともなく初めての寺院や国宝の仏像があることを初めて知った会員の方もおりました。心配した天気も雨も降らず全員無事にゴールすることができました。

今回歩いたのは北条家や源頼朝の史跡がある半分も見られませんでしたので機会があれば再度挑戦したいと思います。

【人物紹介】 北条義時 1163年～1224年

平安時代末期、鎌倉幕府創立を支えた一人。二代執権。

北条義時は、時政の次男として、長寛元年（1163）伊豆国に生まれました。この地で幼・少年期を過ごした義時の詳細な記録は残っていませんが、「江間 小四郎」を名乗っていたとされます。

長男の宗時が石橋山の合戦で戦死したことから、実質的な長男として、父時政とともに源頼朝の鎌倉幕府の創立に尽力しました。

頼朝の死後、2代将軍頼家の代には、有力御家人で組織された「十三人の合議制」の一員となり、幕府政治の表舞台に立ちます。

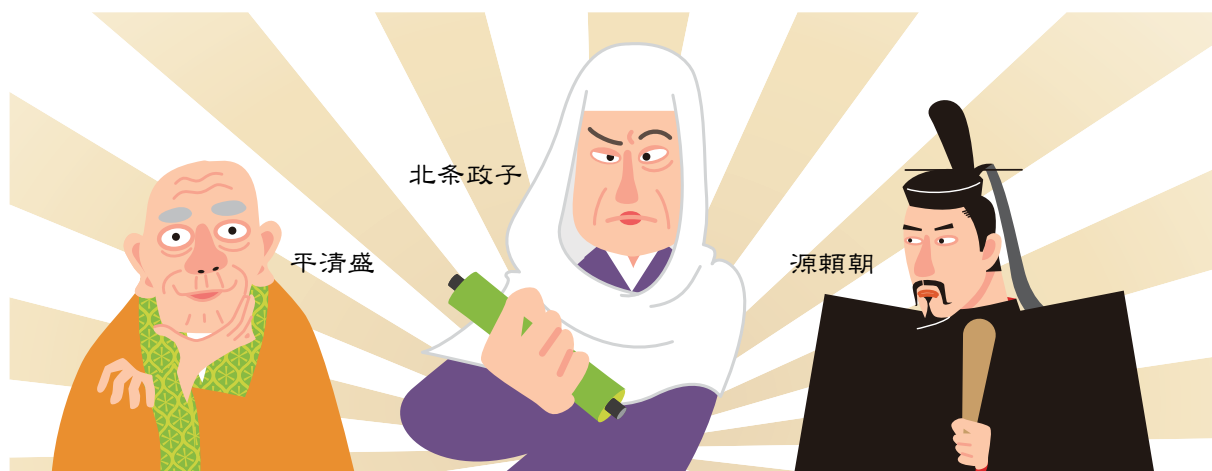
その後、比企氏や畠山氏といった御家人を制圧し、父時政を伊豆へ追放するなど存在感を示し、ついに2代執権となって実の姉で亡き頼朝の妻政子とともに幕府をまとめていきます。

承久年間、幕府の勢力拡大を恐れた後鳥羽上皇と領地問題などで対立が深まり、承久3年（1221）後鳥羽上皇による幕府討伐計画が発覚すると、厳しく鎮圧（承久の乱）し、幕府勢力をさらに拡大しました。

元仁元年（1224）6月13日（旧暦）、鎌倉にて急死しました。
61年の波乱に満ちた生涯でした。

大河ドラマ館 【今和5年1月15日(日)をもって閉館しています。】

北条義時を中心にした「鎌倉殿13人」のストーリーで登場人物をパネルで紹介している。



「バーベキュー懇親会実施報告」

高田 幸博

日時：11月10日（木）11:30-13:30

場所：茶房 柿田川（柿田川の右岸）

好天、快適な気温、場所は富士山の伏流水が沸いている柿田川の岸辺に於いて、本当に久しぶりに行事を行いました。笑いがあふれ手際の良い美味しいバーベキューを堪能しながら和気あいあいの3時間でした。

水辺にでるとさわやかな空気、心地よい水の流れる音、何かほっとします。多くの方々から夏に計画したらとのコメントも頂きました。

柿田川の湧き出ているところから100m・川幅50cmの程、お店の人にきいたところ、水量は豊富で水のきれいなところにしか育たない「三島梅花藻」の群生地だと話してくれました。



柿田川湧水



柿田川をバックに

「バーベキューと懇親会に参加して」

柿島 昭一

心地よい秋晴れに、三島函南支部のバーベキュー懇親会が行われました。

私としては、先輩方の活動の末席に加えて頂き、今回が、2回目の活動参加となりました。会場の茶房柿田川は、今まで知らずにいた所でした。目の前に柿田川が流れ、静寂で、澄み切った湧水の素晴らしい眺めの、最高のバーベキュー環境。それに加え、久しぶりの会合で、皆さん会話もはずみ、楽しい時間を過ごせたように思います。

私としても知らなかった昔の会社のことや、これから迎える高齢期に対しての話等、見聞を広め、参考になる話を聞ける良い機会となりました。

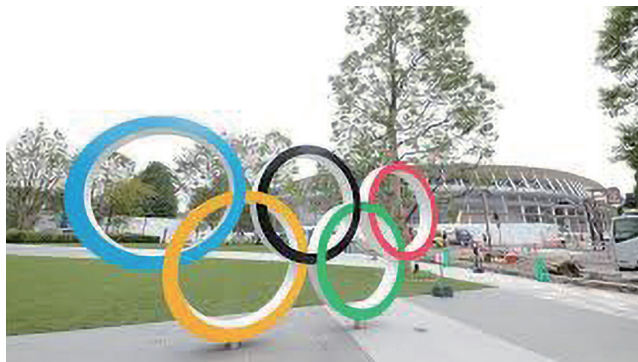
実施に尽力された幹部・役員様、出席された会員の皆様、楽しい機会をありがとうございました。次回も期待し、コロナ等も落ち着き、幸せな世の中と、楽しい東芝テック OB 会活動が実施できることを祈っていきたいと思います。



懇談風景

第36回 東芝テックOB会・首都圏ファミリーウォーキング

オリンピックスタジアム・
東京体育館の周辺を歩き新宿御苑でお花見！



「東京2020大会」は困難を乗り越え世界中の人々にとっての「希望の灯あかり」となる大会となりました。その思い出をたどると共に、桜満開の新宿御苑で、お花見を楽しみます。

① 開催日時：2023年（令和5年）3月30日（木） 11：00～16：00

（雨天の場合は翌日3月31日（金）に実施します）

② 集合場所：JR 総武線「千駄ヶ谷駅」中央改札口

③ 集合時間：10：30AM 受付開始～11：00出発～

④ 参加対象：OB 及びその家族、知り合い、友人。

⑤ 参加費：一人500円（子供は無料）

⑥ コース案内：鎌田芳郎（東芝テックOB会）

⑦ 予定コース：JR 千駄ヶ谷駅（11：00出発）～

- 東京体育館
- 国立競技場
- 日本オリンピックミュージアム（見学、¥400）
- 新宿御苑（庭園見学、有料）～徒歩15分
- 歌舞伎町（世界に名だたる繁華街）
- 東京都庁展望台（202mの高さから都内を一望）

⑧ 申込先・方法：下記幹事のいずれかに E-mail 又は Fax、電話にて、住所、氏名、電話、最終所属をご連絡下さい。

⑨ 申し込み締め切りは令和5年3月26日（日）

⑩ その他・持参品：お弁当・健康保険証・雨具…
解散後、希望者は新宿駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定しております。

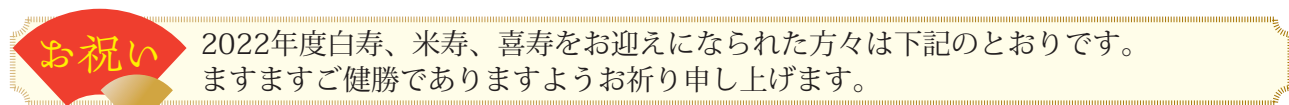


幹事	TEL・FAX	E-mail：携帯電話
鎌田芳郎	TEL/FAX：03-3771-0057	E-mail：kamayosi@zj8.so-net.ne.jp 携 帯：080-1031-6013
吉田昭太郎	TEL：0463-58-8610 FAX：0463-26-3075	E-mail：shotaro.yoshida@nifty.com 携 帯：090-2477-7992

会員の状況

2022年12月現在の東芝テック OB 会会員数は次のとおりです。

総会員数 825名



◆ 白寿のお祝い（該当者なし） 大正13年生

◆ 米寿のお祝い（18名） 昭和10年生

青山正信様、阿部金一様、有村重剛様、岩根英行様、碓井和美様、數野將憲様、木津侑一郎様、上月景道様、坂神常雄様、佐藤きく彙様、野田泉様、畠豪様、藤田亀義様、堀江敬様、真島良雄様、三上幸男様、矢口隆次様、芳野達男様、

◆ 喜寿のお祝い（29名） 昭和21年生

青山英一様、阿南憲治様、板倉明様、岩崎英亮様、大河原広明様、小河松夫様、小田五郎様、小野伊都夫様、小泉信三様、小森志郎様、斉藤秀夫様、阪上和夫様、塩川恒利様、柴田良明様、高井俊二様、高橋昭夫様、武尾進一様、浪川邦俊様、野中哲夫様、畠山泰次様、平間敏男様、藤井邦彦様、本間日出男様、牧野稔様、村上啓祐様、守健一郎様、山田正幸様、吉田正弘様、渡邊重美様、

訃報 心からご冥福をお祈り申し上げます（17名）

寺内 晃様（令和4年10月）	杉山吉邦様（令和4年 7月）	池西憲一様（令和4年 4月）
中田修二様（令和4年 9月）	谷口弥太郎様（令和4年 6月）	山口幸次様（令和4年 4月）
大川裕久様（令和4年 9月）	稲 誠一様（令和4年 6月）	池田 宏様（令和4年 2月）
五味昭人様（令和4年 9月）	木内政司様（令和4年 5月）	黒崎栄蔵様（令和4年 2月）
若杉義久様（令和4年 8月）	納 浩様（令和4年 5月）	中村順一様（令和4年 2月）
伊藤栄康様（令和4年 8月）	三浦 伸様（令和4年 5月）	

新会員（5名）

勝海 高弘様、北 慎二郎様、北岡 和樹様、高橋 正樹様、山口 満様

退会者：20名

（注）個人情報保護の観点から OB 会リストの配布を行わないこととしています。ご了承くださいませようお願いいたします。

会員の広場原稿募集

本第38号には、皆さまからご寄稿いただきありがとうございました。

昨年からのコロナ禍により、思うような活動もできずにおられることと存じますが、次号に向けて、下記要領にて、皆様からご寄稿をお願いしたいと存じます。

小さな発見、些細なことでも結構です。皆さまからのご寄稿を心よりお待ちしております。

1. 募集内容 「会員の広場」……今ハマっていること等どんなことでも結構です。
2. 文字数 400文字程度
3. 写真 2枚程度（ご本人が写っている写真を必ず入れてください）
4. 送り方 直接原稿を事務局あて郵送していただくか、メールにてご投稿ください。

*送付先アドレス（OB 会専用アドレス） TEC-ob@msg.toshibatec.co.jp



「OB 会員募集」

お近くの方で OB 会に入会していない方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。

ご連絡先をお知らせいただければご案内をお送りいたします。

東芝テック OB 会事務局

飯島、楮山、大井

TEL：03-6830-9311

Mail：TEC-ob@msg.toshibatec.co.jp